



デフ バasketボール日本代表候補 はごろも「夢」講演会

丸山香織さん 若松優津さん

「音のない世界のコミュニケーション」



「障がいは個性である」。感音性難聴の丸山香織さんと若松優津さんからのメッセージに、はっとした生徒も多かったようです。5月31日に上記の講演会が本校体育館にて行われました。（聴講してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。）

聴覚障がい者または耳の聞こえにくい人のことをデフということ。イヤホンで大音量で音楽を聴く影響で難聴者が増えていること。感音性難聴の人が補聴器を付けた場合の聞こえ方。聞こえないときのコミュニケーション方法（手話、表情、読唇、筆談、目で伝える、テレパシーで伝えるなど）。「聞く」と「聴く」の違い。難聴者で困ることとよいこと。聴覚障がい者標識と耳マークがあること。日本とインドの違い。いろいろな障がいがあるが理解が広まり、障がいは個性となってきたこと。多様性を認め、みんな違ってみんないいということ。デフについての様々なことを生徒は学びました。

また、お二人は2025年に東京で行われるデフリンピック（デフバスケットボール）日本代表を目指しているので、デフバスケのことも教えていただきました。デフバスケットボールでは笛の代わりに旗を振ってファウルを知らせること。ゴールリングの上にランプがついていること。作戦の指示はサインを使って行うこと。また、ゴールが決まった時などは、拍手ではなく両手を耳の高さに持っていき、ひらひらさせる。これで拍手されていると分かるから、覚えてほしいと話していました。

簡単な手話も覚えました。おはよう、こんにちは、こんばんは、大丈夫、元気、ありがとうなど。手話は世界共通ではないけれど、共通の手話があり、それは片手で“I Love You.”を作る「愛している」ということも教えていただきました。

【女子生徒の感想】 耳が聞こえず、苦勞が多い中、スポーツをやろうと思っているお二人の姿に感

動した。世界には障がい者がたくさんいる。障がいを抱えていると大変だが、そのような人々を認めない人もいる。しかし、私はそういう人を助きたい。私なんかが役に立つのだろうかと思って一歩が踏み出せないときがあった。でもお話を聞いて私なんかの勇気で人を助けられるのなら、その一歩を踏み出していこうと思った。ご活躍を期待し、応援したい。

【男子生徒の感想】 丸山さんや若松さんのような障がいを持っている人が、私たちが思っている以上

に夢や希望を持って生活していると思った。障がいを持っていると分かったとき「なんで自分が」と思ったと話をしていたが、それでも障がいを認めて、手話を覚え、読唇術ができるように努力し、デフバスケットボールの日本代表になるという夢を持っているのは本当にすごい。私たちも夢を持って生きるのは大事だと思った。

本校の学校教育目標は「やさしく生きる」です。やさしく生きるためのヒントとして人は皆それぞれ多様性があることを踏まえ、ありのままの自分を認め、周りの人に感謝し、生きていることに感謝しながら、やってみようと挑戦し、なんとかなるさと前を向いていくことを奨励しています。

丸山香織氏と若松優津氏の講演は、まさにこの「やさしく生きる」を具現化しているものでした。多くの生徒がこのお二人の生き方を受け止め、これからのVUCAな社会をやさしく生きていくきっかけをつかんだと思います。大きな成果が感じられた講演会でした。

* 部活動 市内・東部大会等の結果 *

柔道部 <富士市柔道選手権> ※個人の敬称は略しています。



【団体戦】 準々決勝 VS 富士宮柔道会 5対0
準決勝 VS 富士市柔道会 2勝2敗1分 代表戦 で勝利
決勝 VS 大富士中 1対4 惜敗 準優勝

【女子個人戦】 第3位

【男子個人戦 2年の部】 ベスト8 【3年の部】 ベスト8

剣道部 <段位審査> 1級に6人が合格しました！



陸上競技部 <中学校総体 東部地区予選> 以下は、県大会出場です。

女子共通 4×100mR	3位		
女子共通 1500m	12位	女子3年 100m	12位
男子2年 100m	13位	男子2年 1500m	4位
男子共通円盤投げ	10位	男子共通 800m	6位
女子共通走高跳	9位		11位
男子共通走幅跳	5位		8位
女子低学年 4×100mR	9位		

<地域の皆様へ>

11月19日午後には富士南中学校にて開催する予定のトークフォークダンスに、参加してくださる地域の大人の方を募集しています。7月以降に参加者登録をしてほしいと考えていますので、予定をあけておいていただけるとありがたく存じます。

※トークフォークダンス：地域の方と中学生がテーマに沿って気軽にお話をするもの。